

春日井・小牧で農業をはじめませんか

就農までの道すじ

① 就農相談・情報収集

新規就農相談カードにご記入いただき、お話をお伺いします。就農するにあたりご質問がありましたらお気軽にお尋ねください。同時に情報収集も同時に行いましょう。書籍やインターネットなどで調べることができます。

愛知県 農起業支援センター
新規就農希望者に対する就農相談、
生産技術指導等

愛知県 農業大学校
各種研修を開催しています。



② 農業を体験する

農業は甘くありません。様々な技術を必要とし、体力と気力を必要とする仕事です。また、自然の中で営むため、厳しい暑さ・寒さの中で仕事をすることもあります。農業に対する「イメージ」と「現実」とのギャップを埋めるためにも、農業体験をおススメします。

野菜での就農を目指す方
→かすがい農業塾、小牧市農業体験講座

桃での就農を目指す方
→モモ栽培サポーター養成講座

③ 就農への意思を固める

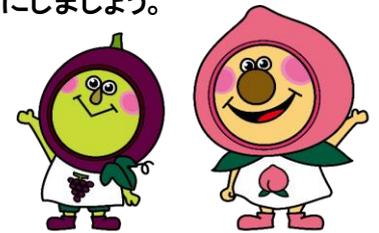
職業として農業を選択する前に、就農への心構えなどをチェックしましょう。

- ・あなたのやる気は本物ですか？
- ・自己資金を確保しておきましょう。
- ・家族の協力は得られましたか？
- ・地域との話し合いや交流を大切にしましょう。
- ・農業技術、知識を習得しましょう

④ 就農に向けたスケジュールを立てる

農業を開始し、経営者となるまでには、経営に必要な技術やノウハウを身に付けるとともに、農地の確保、機械・施設の取得、営農資金の用意等、十分な準備が必要です。スケジュールを立てて、計画的に準備しましょう。

- ・技術の習得方法は？
- ・資金確保の方法は？
- ・販売方法は？
- ・家族の理解や地域住民との関わりは？
- ・農地確保の用途は？
- ・機械、施設等の取得は？
- ・住居の確保は？



⑤ 研修で技術や経営を身に付ける

農業経営の基本は技術力です。良い商品をつくるのが販売に繋がり、経営が安定します。研修を受けて、しっかりと栽培技術や経営ノウハウを習得しておく必要があります。

愛知県立農業大学校で学ぶ
・ニューファーマーズ研修
・農業技術研修

果樹栽培サポータークラブ

⑥ 就農計画を具体化

研修を終えるまでに、経営目標と就農計画、資金計画等を作成しましょう。就農計画は、関係機関から就農支援を受ける際や就農支援制度を利用する際に必要となります。

経営規模の目安は経営指標を参考にし、家族が生活できる所得をあげられること。
3年程度の経営規模当たりの収益は、一般農家の5割程度に見積もる。
リスクに備え、できるだけ自己資金を準備し、過剰な投資は絶対に避けましょう。

⑦ 就農に必要なものを確保

農地の確保

農地を購入したり、借りたりする場合は、市町村農業委員会に相談し、必ず農地法や農業経営基盤強化促進法による許可等の手続きが必要となります。

農地中間管理事業

所有者等から借り受けた農地を担い手に転貸する仕組みが活用できます。

資金の準備

農業経営を開始するためには、機械や種苗・肥料等の初期投資のほか、栽培が軌道に乗るまでの生活資金も必要です。

問合せ先

JA尾張中央農業振興部営農企画課(愛知県春日井市八田町1-16-3)
TEL:0568-44-2058 FAX:0568-84-6501
MAIL: einokikaku@ja-owari-chuoh.or.jp